

# 競技注意事項

新型コロナウイルス感染防止対策のため、本競技会は無観客で行います。3密を回避するため、人数を最小にする、滞在時間を短くする、など、各クラブ(保護者)の皆様のご協力がなければ成り立ちません。  
本競技注意および要項に留意していただき、競技者ファーストの競技会となるよう、ご協力をお願いします。

## 1. 規則について

本競技会は2020年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本競技会要項及び本競技注意事項により実施する。

## 2. 競技者の事前準備

本競技会に参加する競技者は、事前に東京陸協ホームページに掲載の大会ガイドライン、「大会参加にあたって」を確認し、下記の準備をしておくこと。

### (1) 体調管理チェックシート

東京陸協ホームページよりダウンロードし、記入をしておく。その際、検温については、競技会出場当日を含む8日間の検温結果を必ず記入すること。

### (2) 保護者同意書

東京陸協ホームページよりダウンロードし、事前に保護者が記入すること。

### (3) 当日の受付をスムーズに行うため、各自ビブス(ナンバーカード)の番号を東京陸協ホームページに掲載のスタートリストより確認しておくこと。

## 3. 競技場の入退場及び競技者受付について

### (1) 競技場の開門時刻は7時40分とし、入退場口は2階正面入口エントランスのみとする。

開門前に来場した競技者及びその指導者・引率者(保護者)はソーシャルディスタンスを保って開場を待つこと。

### (2) 来場者は入場の際に、手指消毒および検温を行う。

### (3) 入場時、競技者、引率者(保護者)および指導者は各自、事前に記入した「体調管理チェックシート」、「保護者同意書」(競技者のみ)を競技者受付に提出し、リストバンド(競技者と引率者(保護者)・指導者で色が異なる。)、ビブス、プログラムを受け取る。

3密を避けるため競技場内への入場を制限し、原則として引率者(保護者)については競技者1名につき1名とする。また、指導者については個人申込の競技者は1名のみ、クラブチームや学校等、団体については競技者の人数が2名から10名までで2名、20名までで3名、21名以上で4名とする。なお、プログラムについては個人申込の場合は競技者へ、2名以上の団体の場合は指導者(複数の場合は代表者)に受付時に配付する。

### (4) 競技者と引率者(保護者)は一緒に入場し、受付をすること。引率者(保護者)のみの入場は原則として認めない。

### (5) プログラムに記載ミス(氏名、学年、所属等)があった場合には、8時30分、または出場する競技の2時間前までに団体の代表者が競技者インフォメーション(TIC)に申し出ること。TICは、2階スタンド正面入口に設置する。なお、プログラムの記載事項は申込の際に送信されたデータをそのまま使用している。

### (6) プログラムは残部がある場合に限り、TICで販売する。

## 4. ウォーミングアップについて

### (1) ウォーミングアップは、駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場内で行うことがで

きる（競技区域およびスタンド裏競技場プロムナード（正面スタンド裏を除く））。

- (2) 競技区域内に入場できるのは本競技会に参加する競技者および各団体、ウォーミングアップエリアごとに1名の指導者のみとする。なお、ウォーミングアップ中も競技者、指導者ともリストバンドを身につけること。
- (3) ウォーミングアップのため競技区域内へ移動する際はスタンド裏の競技場プロムナードの階段を通行し、Aゲートから入場、ダッグアウト下通路を通過して移動して、終了後はBゲートから退場すること。
- (4) ウォーミングアップは周回競技時を除きバックストレートを使用できる（ハードル練は、下記参照）。必ず団体ごとに指導者1名が監督し、逆走や走路にとどまることのないよう、安全に留意して行うこと。
- (5) ウォーミングアップはすべて競技役員の指示に従い、指定された場所・時間の範囲内で事故防止に万全を期して行うこと。ただし、競技運営上、ウォーミングアップを制限することがある。
- (6) ハードルの設置については以下のとおりとする。

8 : 3 0 ~ 9 : 2 0	8 0 mH	ホームストレート	6 ~ 8 レーン
1 1 : 3 0 ~ 1 2 : 4 0	6 0 mH	バックストレート	7 ~ 8 レーン
1 2 : 0 0 ~ 1 3 : 0 0	8 0 mH	バックストレート	5 ~ 6 レーン
- (7) 砂場及び芝生でのウォーミングアップは禁止する。また競技場内、プロムナード、スタンド、中央広場において投てき物（ボール等）を投げることについても禁止する。

## 5. 招集について

- (1) 招集所の設置場所は、100mスタート地点後方のAゲート裏とする。招集所へ移動する際はスタンド裏の競技場プロムナードの階段を通行すること。
- (2) 競技者はそのまま競技ができる服装にビブス（ナンバーカード）をつけてマスク着用のうえ集合するものとし、荷物はスパイク（使用する場合のみ）、防寒着（必要な場合のみ）、水筒やペットボトル、タオル、帽子等、最低限にすること。なお、トラック競技、フィールド競技とも競技場設備およびスパイクピン保護の観点からスパイクの着脱は競技場内で行うこととする。
- (3) 招集所に立ち入る者は必ずマスクとリストバンドを身につけること。
- (4) 各競技の招集開始・完了時刻は、タイムテーブルに記載のとおりとする。遅れた場合は競技に出場できないので、時刻を厳守すること。
- (5) 代理人による招集は一切認めない。
- (6) 招集所において、競技者係の点呼およびビブス、スパイクピンのチェックを受けること。また、トラック競技に出場する競技者・チームは腰ナンバー（1枚）を受け取ること。
- (7) リレー競技に出場するチームは、招集完了時刻60分前までに（タイムテーブル参照）オーダー用紙を競技者係へ提出すること。（オーダー用紙は招集所にて配付。）オーダー用紙の提出が遅れた場合は受理しない。また、一度提出したオーダーは、主催者の任命した医務員の判断が無ければ変更を認めない。

## 6. ビブス（ナンバーカード）について

- (1) 当日、競技者受付にて、ビブス（ナンバーカード）、リストバンドおよびプログラムを配付する。ビブスは、競技を行う際に着用するユニフォームまたはTシャツ等の胸と背に、そのままの大きさを四隅を安全ピンでとめてつけること。ただし、跳躍競技の競技者については胸か背のどちらか一方でよい。
- (2) トラック競技出場者には、招集時に腰ナンバー（写真判定のために使用。シールタイプ）

を支給するので、（リレーは第4走者のみ）右側の腰の高い位置に記載の数字が身体の真横の位置となるよう注意してつけること。

## 7. 更衣室の利用について

- (1) 更衣室の利用は本競技会に出場する競技者のみに限定する。3AB更衣室を男子用、2AB更衣室を女子用とする。
- (2) 更衣室への移動の際はスタンド正面入り口を入れて左側の階段を利用すること。更衣室から先の屋内廊下を通行することは禁止する。なお、屋内廊下の通行は更衣室を利用する場合を除き競技役員の誘導がないかぎり禁止とする。
- (3) 更衣室への付き添いは競技者が1人で移動や更衣ができない場合のみ、1競技者につき1名に限り許可する。更衣室への移動時も競技者、付き添いともマスクおよびリストバンドを必ず身につけること。
- (4) 更衣室の滞在は短時間にする（シャワールームの使用は原則として禁止する）。
- (5) 更衣室は更衣のみに使用し、ロッカーの使用は禁止する。

## 8. 競技および競技方法について

- (1) トラック競技のレーン順及びフィールド競技の試技順はプログラム記載のとおりとする。
- (2) トラック競技の準決勝・決勝の組み合わせ及びレーン順は本部にて公正に抽選し決定し、本競技会記録携帯速報サイトにて発表する。
- (3) 競技しやすい靴をはくこと。素足での出場は認めない。スパイクシューズを使用することはできるが、ピンは全種目全天候性走路用9mm以下を使用すること。
- (4) 60m、60mHのスタートはクラウチングでもスタンディングでも構わない。100m、80mH、4×100mリレーの第1走者のスタートはクラウチングスタートのみとする。
- (5) スタートブロックは5年100m、6年100mの準決勝及び決勝、4×100mリレー決勝のみ使用できる。使用する場合はセッティングを速やかに行うこと。
- (6) スタートに関するルールは昨年度の全国大会に準じる。

スタートは英語で行う。

同一人が2回不正スタートした場合は失格とする。

ただし、競技には参加させ、記録は参考記録とする。

- (7) ハードル競走は以下の規格により行う。

種目	スタート～ 第1ハードル	高さ	インターバル	台数	最終ハードル ～フィニッシュ
60mH	12m	600mm	6m	7台	12m
80mH	13m	700mm	7m	9台	11m

- (8) 800m以外のトラック競技では、競技者の安全のためフィニッシュライン通過後も自分のレーン（曲走路）を走り他のレーンに入らないよう注意すること。
- (9) 800mのスタートは、オープンで行う。
- (10) 男女混合4×100mリレーは、5・6年男女各2～3名でエントリーを行いそのうちの男女各2名が競技に出場できる。なお、走順は自由とする。
- (11) リレー競走に出場するメンバーは申込時のメンバーで編成する（競技規則第170条10は適用しない）。
- (12) リレー競走における第1、第2、第3走者は危険防止のため、テイクオーバーゾーン内でバトンパス完了後も自分のレーンにとどまり、競技役員の指示により走路外に出ること。リレーのマークは各チームで用意し、レース後必ず取り外すこと。

- (13) リレーチームはできるだけ同じユニフォームを着用のこと。
- (14) 5年100m、6年100m、男女混合4×100mリレー以外のトラック競技は決勝のみとし、タイムレースで順位を決定する。5年100m、6年100mは予選の上位記録16名を準決勝進出者とし、準決勝2組の各組上位3名とそれ以外の記録上位者2名を決勝進出者とする。男女混合4×100mリレーは予選の記録上位8チームを決勝進出とする。同記録がありレーンが不足するときは、写真判定主任が同記録者の写真を拡大して1/1000秒で計測し進出者を決定する。それでも決まらないときは抽選を行う。その際は、場内アナウンスにより呼び出しをするので速やかにTICに来ること。指定された時刻までに来なかった場合はその権利を放棄したものとする。

(15) コンバインド競技について

- ①コンバインドの競技は以下の順で行う。

コンバインドA（80mH、走高跳）

コンバインドB（走幅跳、ジャベリックボール投）

コンバインドC（60m、走幅跳）

コンバインドD（ジャベリックボール投、60mH）

- ②スタートまたは試技を行わなかった場合は欠場とし、最終順位には加えられない。

- ③最初の種目を欠場した競技者は、2種目目には出場できない。

- ④2種目の合計得点で順位を決定するものとし、合計得点が同点の場合は同順位とする。

- ⑤コンバインド競技のレーン順・試技順は、プログラムに記載のとおりとする。

- ⑥走高跳の跳び方は「はさみ跳び」とする。マットへの着地は足裏からとし、背・腰からの着地は無効試技となる。

- ⑦走高跳の最初の高さは男女とも90cmとする。自分が申告した高さから試技を開始し、続けて2回失敗した時点で終了とする。

- ⑧走高跳のバーの上げ方

練習	1	2	3	4	5	6	7	以降
0m90	0m90	0m95	1m00	1m05	1m10	1m15	1m20	+3cm

- ⑨走幅跳、ジャベリックボール投は全員2回の試技とする。

- ⑩ジャベリックボール投の2回の試技は連続して行う。

- ⑪ジャベリックボール投はやり投ピットで行い、投てき物の着地場所の範囲の角度はやり投と同じする。助走距離は15m以内とし、スパイクを使用してもかまわない。

- ⑫ジャベリックボール投の試技の際にはボール本体を持ち、オーバーハンドスローで投げることにする。※羽だけを持って投げることは禁止する。

- ⑬競技会で使用する（練習も含む）用器具はすべて主催者が用意したものとする。

## 9. 競技区域からの退場について

- (1) 60m、100m、60mH、80mHを終了した競技者およびリレーの第4走者は、フィニッシュ地点からダッグアウト下通路を反時計回りに通行し、バックストレート側を通過してスタート地点に戻り、それぞれの荷物を回収してAゲートから退場する。800mについては競技終了後、荷物を回収してBゲートより退場すること。
- (2) リレー出場者のうち第1走者から第3走者は競技終了後、時計回りにBゲートへと向かい退場する途中で自分の荷物を回収すること。
- (3) ジャベリックボール投および走幅跳についてはAゲートから、走高跳についてはBゲートから、いずれも競技終了後、競技役員の誘導により退場する。

## 10. 抗議について

競技の結果または競技進行中に起きた競技者の行為に関する抗議がある場合は、競技結果が大型スクリーンで正式発表されてから30分以内、つぎのラウンドが行われる場合は15分以内にチームの公式な代表者がTICに申し出ること。

## 11. 表彰について

- (1) 本競技会において表彰式は行わない。
- (2) 各種目第1位～第8位に賞状を授与する。なお、コンバインドC、Dについては最終順位がついた競技者を対象にコンバインドC、Dを構成する各種目の第1位～第8位に賞状を授与する。
- (3) コンバインドA、コンバインドB、5年100m、6年100m、男女混合リレーの第1位～第3位にはメダルを授与する。
- (4) 賞状はすべて順位確定から30分後以降にTICに用意する。受け渡し時の密を避けるため、できるだけ団体の代表者がまとめて受け取ること。

## 12. 新型コロナウイルス感染拡大防止にともなう注意

- (1) 競技者及び来場者に関して
  - ①来場にあたっては、3つの密（密閉、密集、密接）を避けること。
  - ②競技者および指導者・引率者（保護者）は競技会開催1週間前から検温を実施し、指定の体調管理チェックリストに記載し、受付に提出すること。チェックリストを提出しない者については、原則として来場及び参加を認めない。
  - ③入場口及び退場口は限定されており、入場の際には必ずリストバンドを提示すること。リストバンドのない者は入場できない。
  - ④競技は無観客で行う。リストバンドを支給された関係者は入場でき、本競技注意事項に則り許可された指導者は競技区域内（ウォーミングアップエリア）に立ち入ることができるが、それ以外の同行者は競技者がウォームアップおよび競技を行うときのみ、スタンドで観戦することができる。なお、スタンドで観戦の際は、ソーシャルディスタンスを確保すること。
  - ⑤体調がよくない場合は、来場を見合わせる。（例、発熱（37.0℃以上は再検）、咳、咽頭痛などの症状がある場合）。
  - ⑥以下の事項に該当する場合は、来場及び競技への参加を認めない。
    - ・当日の体温が37.5℃以上あり、強い倦怠感と息苦しさがある場合。
    - ・同居家族や身近な知人が感染している、または感染が疑われる状態にある場合。
    - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合。
  - ⑦競技会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対し濃厚接触者の有無等について報告すること。
- (2) 来場及び競技の参加にあたって
  - ①参加者は競技のウォーミングアップ開始に合わせて来場し、競技終了後は速やかに帰宅すること。
  - ②来場にあたっては、マスク・マイタオルを持参し、運動時を除いては原則としてマスクを着用すること。
  - ③石けん等を用いた手洗い・手指消毒、洗顔を励行する。
  - ④ウォーミングアップ・招集等については、競技役員の指示に従い、ソーシャルディスタンスを確保すること。

- ⑤競技用具使用後は手洗いまたは手指消毒を行うこと。
- ⑥飲食等の際は感染リスクが高くなる為、短時間・ソーシャルディスタンス・換気の良い場所で行うこと。なお、スタンドでの飲食は禁止しないが、他人と会話をせず、正面を向いた姿勢で行うこと。
- ⑦飛沫拡散を防ぐ為、声を出しての応援、集団での応援や大声・近距離での会話を避けること。
- ⑧タオル、ペットボトル、コップ、皿、袋等の共用を控え、個人用を用意すること。また、ゴミは各自で持ち帰ること。

### 13. その他

- (1) 競技中の事故における怪我については、主催者が応急処置を行うが、責任は負わない。
- (2) 貴重品等は各自・各チームにて管理し、盗難・置き引き等に十分注意すること。
- (3) 記録証は1枚300円で発行する。希望者は15時20分までにTICへ申し出ること。
- (4) 届けられた拾得物については、TICにて競技会終了時まで保管する。
- (5) 大会運営、競技に関する不明な点はTICへ問い合わせること。
- (6) 競技中の助言（指導）は、競技場内のスタンドからのみ行うことができる。
- (7) 記録はその都度、アナウンス、大型スクリーン及び記録結果携帯速報サイトに発表する。
- (8) 競技場は、大切にきれいに使用すること。
- (9) ゴミは必ず自宅まで持ち帰ること。（競技場近辺やコンビニ、駅等に捨てないこと。）

“日清食品カップ“東京都小学生陸上競技交流大会の記録結果携帯速報サイトをご利用ください。  
競技終了後に、次のサイトにアクセスすれば、ご覧になれます。

<http://gold.jaic.org/jaic/member/tokyo/top.htm>

QRコードもご利用ください。



競技会コード：20130010  
競技場コード：132090

プログラムに記載ミス（氏名、フリガナ、学年、所属）等があった場合は8時30分（遅くとも出場する競技の1時間前）までに各団体の代表者がTICへ申し出ること。